



2005年6月12日

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週日曜日 発行
お問合せは上記へ

市議会 開会

6月9日、第二回定例市議会が開会しました。初日に開かれた議員全員協議会では、次のような決定・報告がありました。

「火発」「行革」 特別委員会はすみやかな情報の開示を 日本共産党議員団が求める

市議会では、改選前まで設置されていた行革特別委員会と火発特別委員会を引き続き設置することを決めました。

このうち火発特別委員の設置について、鈴木やす子市議は「東電側の提示した企業誘致の情報提供や寄附金12億円の使途については、議会全体や所轄委員会、また担当課で十分に議論や推進できるものである。それでもあえて特別委員会の設置を考えるならば、情報がすみやかに議会



千手観音

華川町下小津田の長照寺で千住観音の御開帳。33年に一度の機会でした。(6月5日)

全体に伝わるようにすべき」と発言しました。

両特別委の選出については、正副議長と各常任委員より2名ずつの10名の構成とするようになりました。

高速バスの廃止

これまで北茨城〜東京駅間で運行されてきた高速バスが今月30日で廃止されることになりました。

日立電鉄では、3月末での廃止を運輸局に届け出ました(本紙1月23日既報)が、このときは開設してから廃止までの期間が短いなどの理由から受理されませんでした。その後、6月末日での廃止を目的に手続きを進め、6月3日、

運輸局に届出が受理されたことが報告されました。

廃止についての広報は、電鉄ではバス停への掲示物やホームページ上などでおこない、市では、6月20日に発行する「お知らせ回覧」で広報するとしています。

日本脳炎ワクチン中止

日本脳炎ワクチンについて、厚生省からの5月30日付けの勧告にそい、安全性が確認されるまでの間、当市でも接種を中止することが報告されました。

接種を希望する場合は、医師の診断を受け、同意書を出した上での接種ということとなります。

市立病院での人工透析の継続を 陳情が議会に提出される

今議会に「市立総合病院での人工透析治療の継続を求める陳情」が同病院の腎友会から提出されました。「今年5月23日に人工

透析機が故障し、通院治療者は全員他の医療機関に移動せざるを得なかった。もう市立総合病院では透析治療が受けられなくな

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

るのではないかと、この不安を強く抱いている」として、

市立総合病院での人工透析センターの早急な再開。陳情者全員の市立総合病院人工透析センターでの人工透析治療の確約を陳情しています。

議会には市立総合病院の浜野院長、桜井副院長が出席して、陳情に関連しての説明がされました。それによると病院側としては

「今後の人工透析に対する考え方として、単に人工透析のみの患者に対しては他の医療機関に移してもいい、緊急な患者や合併症を併発している患者を優先的に治療していきたい」との意向です。

また、「この3年間、人工透析の専門医の確保に努めてきたが、現状では困難」と述べ、その原因の一つに民間病院の医師に比べて公立病院の医師の給与が低いことが率直に語られました。

これに対して議員からは「透析機械を増やして、専門医を確保すれば、現在の患者や緊急な患者も含めて充分やっていけるのではないか」等々の発言がだされました。この陳情の採決は最終日の23日におこなわれます。

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>